

LEARN WITH ソフトバンク ～魔法のプロジェクト～ インクルーシブ教育 実践事例

事例の活用について

※本事例の知的財産は投稿者に留保されます、使用される際には出典として
「LEARN WITH ソフトバンク ～魔法のプロジェクト 組織名」 を記載ください。

■基本情報

組織名： 竹芝小学校

所在地： 東京都港区

※都道府県・市区町村

氏名： 竹芝 花子

投稿月日： 2020年〇〇月〇〇日

■インクルーシブ対応を検討するきっかけとなった児童・生徒（※以下「対象の子ども」と略）について

対象の子どもの学齢 小学4年生

例：小6 12歳

障害種別：

- 知的障がい、知的障がいを伴う ASD
高機能自閉、アスペルガー症候群 読み書き障がい
注意欠損多動性障がい (AD/HD) 肢体不自由
聴覚障がい 構音障がい 視覚障がい 病弱
重度重複障がい その他 ()

主訴 (主な困り)

- 読む 書く 聞く 見る 話す 記憶する 移動する
その他 ()

その他補足

墨字 (特に漢字) から内容を読み取ることは時間がかかり、不正確となる。内容を読み上げる等の補助があると、内容の理解はできている。音読は好まず読みはたどたどしく、読み間違いや勝手読みが多い。

■対象の子どもが利用している ICT について

①利用端末（ハード） タブレット PC その他（ ）

②OS Windows MacOS Chrome Android OS その他

③使用した ICT の機能やアプリを教えてください。複数あれば、ボックスを追加して記載してください。ネイティブアプリ（最初から搭載されているアプリ）の URL は記載不要です。

名称：カメラ・写真（ネイティブアプリ）

紹介 URL：

名称：振仮名（ふりがな）

紹介 URL：

<https://apps.apple.com/jp/app/%E3%81%B5%E3%82%8A%E3%81%8C%E3%81%AA/id924351286?ign-mpt=uo%3D4>

④上記の ICT を活用して、対象の子どもの困りをどのように軽減されたかを詳しく記載ください。

プリントなど、紙資料から内容把握が難しい場合にはカメラ機能で撮影し、「写真」の文字を選択して、テキスト化して読み上げることにより音声でも情報取得ができる。また、わからない語句については、テキストから調べることで確認の手段を持ち、語彙を増やして行った。ふりがながあると読みやすくなることからテキストに「ふりがな」を使って、るび打ちも使用した。

■インクルーシブ対応状況について

1 インクルーシブ対応の検討の 児童生徒は、どの範囲まで利用が可能ですか？

教科	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての教科で使用可能 <input type="checkbox"/> 特定の教科のみ使用可能
場所	<input type="checkbox"/> 通級等のみ <input type="checkbox"/> クラス限定 <input type="checkbox"/> 学年限定 <input checked="" type="checkbox"/> 学校全体
利用シーン	<input checked="" type="checkbox"/> 宿題 <input checked="" type="checkbox"/> 授業中 <input checked="" type="checkbox"/> 小テスト <input checked="" type="checkbox"/> 定期テスト <input type="checkbox"/> その他 ()

2 周囲の児童生徒が ICT を使用するにあたり、個別の許可が必要ですか？

はい いいえ

■インクルーシブ対応に向けての工夫について

①前問で、「いいえ」と回答された方にお伺いします。環境整備に向けた実施事項/工夫点について記載ください

実施事項/工夫点

- ・保護者、生徒全てに学ぶ上での困難のある人がいることと、その軽減の手だてとして ICT があることの啓蒙を図り共有を図り、希望により利用可能な状態を作り上げた。
- ・利用の際のルール作り。
- ・音声対応としてイヤフォンの用意。

■その他

参考になる写真があれば、こちらに添付してください。

※個人の写真が含まれる場合、事前に保護者の許可が得られているものに限りませう。詳細は投稿要綱をご確認ください。



■変化や効果について

①対象の子どもにどのような変化がありましたか

- ・読みが苦手であることから、失敗体験を経験し自己肯定感が下がった状態にあった。音声補助があることで学びやすくなり正答率が向上し、宿題などに自主的に取り組もうとする意欲の向上が観察された。
- ・読書に取り組むことが難しく読書感想文をひとりで完成させたことがなかったが、音声補助のある書籍により読書の楽しみを知り、初めて読書感想文を作成した。

②対象の子ども以外の児童・生徒や、学校全体にどのような変化がありましたか

各クラスに数名ずつ学ぶ上での困難を持つ子供がおり、それぞれの個に応じた学びの提供に繋がっている。

また、子供たちはそれぞれの違いを理解し、尊重する姿勢が見られるようになった。読むこと・書くこと等学ぶ上でのスキルに困難のある子どもが一定数いることについて教員が認識でき、配慮が特別なことではなくなった。